



2024年3月9日 土曜日

講演（3）

テーマ「JR 東日本における DX の取組みとサイバーセキュリティ（仮）」について、西村佳久 氏（東日本旅客鉄道株式会社）と西本逸郎 氏（株式会社ラック）にご講演頂きました。



講演では、JR 東日本の経営戦略とセキュリティ対策が紹介されました。経営戦略として、鉄道中心のサービスから人を起点とした価値への転換と、イノベーションの具体的な取り組み事例が紹介されました。

セキュリティに関しては、2009年のHP改ざんがありこのときからセキュリティに取り組むきっかけになったことが紹介され、余談として、ランサムウェア感染を公表すると攻撃をうけた側が非難されるという経験が語られました。社内では社員教育やシステムのセキュリティ対策はもちろん、グループ会社を含めて対策されています。セキュリティ推進のコツとして、基本方針の制定やセキュリティ運用のチェック、経営のオープンさなどが述べられました。経験から得た教訓を積極的に共有し、全社員に安全と安心を確納させる姿勢がとられています。

講演（４）

テーマ「いま何が起きているのか公開事例から読み解く～セキュリティ対策ありきではないセキュリティ対策を～」について、佳山こうせつ 氏（東京電機大学）にご講演頂きました。



個人情報保護法が策定され、セキュリティのルールが生まれた時代から、サイバー攻撃から身を守るためセキュリティ対策を行う時代になりました。その後、進化する攻撃手段に対応するため、サイバーセキュリティの本質の理解者を増やす時代になったと語られました。

講演では **slido** を用いて参加者との双方向的なコミュニケーションが行われながら進みました。

まず冒頭で、実際に発生した４つの事例に対して被害組織側の内的要因、攻撃者側の外的要因を洗い出し、それらの裏にある背景情報についてまとめが行われました。事象の背景として、責任の所在の不確実性、金銭的な問題、セキュリティ側から発信するメッセージの課題、いやらしいところが狙われる時代の４つが挙げられ、会場からも共感の声が上がりました。

こうした現状への対策として、これまでセキュリティ業界が行ってきた、巧妙な脅威に対する発信、利用者に対する注意喚起は必要な発信であることを確認したうえで、事業者に刺さるメッセージもしっかり追隨して発信していく必要があると述べられました。

セキュリティは難しいから専門家に、事業は事業側に、という現状にセキュリティの盲点があります。高度にカオス化した社会、サイバーセキュリティの枠を飛び越えた協力社会をどう作るか。この課題に対処するための策として、利用者と専門家との間の存在と成り得る人材を育み、「守るセキュリティからつなげるセキュリティ」を念頭に置いた地域コミュニティの育成を行う必要があるとのまとめが行われました。

ナイトセッション総括パネルディスカッション

司会の森井昌克先生と各座長により、昨晚開催されたナイトセッションの総括が行われました。



「四国4県警のサイバーセキュリティに関わる課題と対策」、「クラウドサービスがサイバー攻撃を受けた関係者当事者間の法的責任と実務上の留意点」、「クラウドサービスがサイバー攻撃を受けた関係者当事者間の法的責任と実務上の留意点」の3つについて各座長から議論の内容や課題、解決策についてまとめがありました。

「四国4県警のサイバーセキュリティに関わる課題と対策」では、杉野淳氏から各県警の被害の現状や対策について説明がありました。課題としては、官民連携が十分でない、県民等のサイバーセキュリティ意識の向上について、警察官の人材育成などが挙げられ、それぞれの解決策についてのまとめがありました。

「クラウドサービスがサイバー攻撃を受けた関係者当事者間の法的責任と実務上の留意点」では、西尾太一氏から具体的な事例をもとにクラウドサービスでの責任の所在について議論が行われました。セッションでの論点では、免責事項でも守り切れない過失や、過失の根拠、証拠問題などが挙げられ、履行補助者の理論などについてご説明がありました。まとめとして、新しい分野では法律は未開拓であり、だからこそ基本法が重要であると強調されました。

「クラウドサービスがサイバー攻撃を受けた関係者当事者間の法的責任と実務上の留意点」では松山征嗣氏から、「ベンダー側から見た医療機関の組織的・人的課題」、「ベンダー側にある医療システムにおける課題」、「セキュリティ業過側の課題」の3つのトピックに対して課題と議論された内容についてまとめがありました。

セキュリティ業界のマーケットを大きくするためにも、セキュリティベンダの下支えや貢献が必要であると強調されました。

閉会挨拶

東 政幸 副実行委員長により閉会の挨拶を頂きました。



SecDogo Digest 2024 の編集について

SecDogo Digest 2024 の編集は以下のメンバーで行いました。

高田 紗也香、土佐 あかり、高橋 一生、西脇 弘輝、丸岡 惇（愛媛大学工学部工学科 3 年）

中村 凌也、光家 遥香、森 創太（愛媛大学工学部工学科 4 年）

清水 健吾（愛媛大学大学院理工学研究科 1 年）

甲斐 博（愛媛大学）

曾根 直人（鳴門教育大学）